

町民のみなさんと議会をつなぐ



No. 91

平成30年8月号

発行：北海道比布町議会

編集：議会広報特別委員会

# 2018 ぴっぷろ議会だより



つなひきだって負けないよ！  
くるみ保育園うんどうかい（7月8日）

|                  |    |
|------------------|----|
| 審議結果「6月定例会」ほか    | 2  |
| 一般質問　ズバリ！ここが聞きたい | 4  |
| 委員会の活動・議員全員協議会ほか | 8  |
| 北海道町村議会議員研修会報告   | 11 |

# 次のとおり決まりました 6月定例会

平成30年第2回町議会定例会は、6月14日に開かれました。  
審議内容は、指定管理者の指定についてをはじめ、条例制定1件及び改正5件、  
補正予算4件、その他を含む議案13件を審議し、原案のとおり可決しました。  
主な審議内容についてお知らせします。

## 報告

### ◆平成29年度比布町継続費繰越計算書

地方自治法に基づく報告で、一般会計の比布中学校改築事業総額13億8955万4千円のうち平成29年度までの支出見込額7億2245万5200円を差し引いた6億6709万8800円を翌年度に繰り越し、継続事業とする報告がありました。

## 人事

### ◆人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴う人権擁護委員について次の方々の推薦があり、適任としました。

- ・山田 郁枝氏（西町・再任）
- ・佐々木 裕氏（新町・新任）

## 条例制定

### ◆過疎地域自立促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例

過疎法における減収補てん措置が規定されており、本町はこれまででも、

本条例により適用してきたが、過疎法の期限が延長されたことに伴い、引き続き本町における産業の振興と雇用拡大を図るため、条例を制定するものです。【原案可決】

## 条例改正

### ◆比布町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴う条例改正です。【原案可決】

### ◆比布町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険の平成30年度保険料率などについての条例改正です。【原案可決】

### ◆比布町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

高齢者の医療の確保に関する法律等の改正に伴う条例改正です。【原案可決】

### ◆比布町立学校設置条例の一部を改正する条例

比布中学校校舎危険改築に伴い、中央小学校校舎敷地に建設の比布中学校の位置の変更を行う条例改正です。【原案可決】

### ◆比布町立学校施設使用条例の一部を改正する条例

比布中学校校舎危険改築に伴い、

現在の比布中学校の屋内運動場、音楽室及び屋外運動場は使用しなくなるため廃止。現在の中央小学校の屋内運動場、屋外運動場、新校舎の比布中学校音楽室を小中学校で併用するため、名称を「比布町立学校」に改めるものです。【原案可決】

## その他

### ◆財産の取得

びっぷスキー場ゲレンデ整備車（圧雪作業機）の老朽化に伴い、購入するものです。【原案可決】

### ◆指定管理者の指定

比布町立診療所（びっぷクリニック）の指定管理者に「医療法人社団友崇会（ゆうすうかい）」を指定するものです。【原案可決】

### ◆比布町過疎地域自立促進市町村計画の変更【原案可決】

過疎対策事業債の申請に伴い、過疎計画の変更を行うものです。

### ◆平成30年度一般会計補正予算ほか3会計とも増額補正【原案可決】

- 一般（第1号） 8370万円
- 国保（第1号） 355万円
- 後期高齢者医療（第1号） 17万円
- 簡易水道（第1号） 270万円



## 北海道町村議会議長会表彰

平成30年の町村議会議員自治功勞者として、本町議会議員4人が15年以上の功績を認められ、北海道町村議会議長会から表彰を受けました。4人の議員には、6月議会定例会の席上で表彰状が伝達されました。

・ 澁谷 興二・中本 博論  
・ 遠藤 ハル子・八巻 良博



議会定例会の席上での伝達の様子

## 第2回臨時会

5月10日

- ◆みどり町団地C棟建築主体工事請負契約の締結【原案可決】
  - ◆比布中学校外構工事請負契約の締結【原案可決】
  - ◆財産の取得
- 比布中学校校舎改築に伴い、学校

給食施設の機器一式を更新するものです。【原案可決】

- ◆平成30年度観光事業特別会計補正予算(第1号)【原案可決】
- 3800万円の増

## 第3回臨時会

7月6日

- ◆財産の貸付
- 比布中学校校舎改築に伴う現校舎・体育館を株式会社ヴォレアスに無償貸付するものです。【原案可決】



貸し付けを予定している現在の比布中学校校舎・体育館

- ◆平成30年度一般会計補正予算(第2号)【原案可決】
- 600万円の増

## ホットな

### 傍聴者のこえが届きました

議会を傍聴された方からの感想をご紹介します!

初めて傍聴させていただきましたが、私はこんなふうに比布町の未来を話し合っている場があることを知りませんでした。

議会があっても、どこか他人事のように感じていて、全く興味すら持っていませんでした。

ですが今回、傍聴して良かったと思いました。

もう少し町民のみなさんが興味を持って来ていただけるよう、何か対策を考えてみてはいかがでしょうか。

広報紙や町内無線放送だけでは、私のように興味すら持たない人が多いと思います。

もっと町民のみなさんも来ていただけるような、そして、町民の声を多く拾う町であってほしいと願います。

ありがとうございました。

30代女性  
(3歳の子どもあり)



### 平成30年度各会計補正予算 (第2回定例会、第2回・第3回臨時会)

一般会計(第1号) 8,370万円の増  
総額 45億3,300万円→46億1,670万円

■比布中学校改築工事費の増ほか

一般会計(第2号) 600万円の増  
総額 46億1,670万円→46億2,270万円

■町有地景観継承事業費、応援大使事業費の増ほか

国民健康保険(第1号) 355万円の増  
総額 5億6,849万円→5億7,204万円

■国民健康保険事業基金繰入金の増

後期高齢者医療(第1号) 17万円の増  
総額 6,326万円→6,343万円

■繰越金の増

観光事業(第1号) 3,800万円の増  
総額 1億4,555万円→1億8,355万円

■スキー場グレンデ整備車購入事業費の増

簡易水道事業(第1号) 270万円の増  
総額 2億1,246万円→2億1,516万円

■水道管敷設工事にかかる実施設計委託料の増

みなさんも議会の傍聴をしませんか?

6月定例会は3人の傍聴がありました。  
次回の定例会は、9月11日ごろの予定です。



遠藤 ハル子 議員

## 認知症介助士資格を目指しながらの 介護予防事業活動を

村中町長 >>>

### 各種講座の受講者の増加を図り、 活動を広げていきたい

□質問・遠藤議員

比布町の要介護者は高齢化に伴い、増加傾向にあります。

町が主体となり、社会福祉協議会に委託している介護予防事業が本格的に「サロン」をスタートする予定で進んでいます。認知症の人に寄り添う「認知症介助士」の資格が必要ではないかと思えます。

町民が認知症になっても安心して比布町に住み続けられることを目指すために町長の考えを伺います。

■答弁・村中町長

本町の高齢化率も2015年に40%に到達し、認知症高齢者も年々増加し、多くの方が認知症に対する正しい理解をしていくことを目的に、今後も普及啓発をはじめ、介護予防事業や地域支え合い活動とともに進めていくところです。

現在は、延べ245人の町民の方にサポーター養成講座に参画をいただきました。

今後も認知症講座や講演会を実施し、本年度は「スキルアップ講座」や「認知症と共に生きる講座」を企画し、さらなる受講者の増加を図り、活動を広げていきたいと考えています。

介助士資格は、とても大切な資格だと認識しますが、町が率先して町民の方へ取得を促す考えは、今の

ところはありません。



### 「政治分野における男女共同参画推進法」の実質的な実践に向けて

□質問・遠藤議員

この法律の目的は「政策の立案や決定に多様な国民の意思が反映される」とあります。クオータ（割り当て・アメリカ方式）ではなく、パリテ法（フランス方式）の方が50対50になる男女比での努力義務ではありますが、前進の可能性があると思えます。

町政にも女性の活躍が求められています。また、その責任者は多くありません。

政治分野における男女共同というものは、日常普段からの組織運営や責任の中で育つ人間的なものから政治に目が向くこともあります。

男女共同参画推進に向けての積極的な考えを町長にお伺いします。

■答弁・村中町長

国民全体が「男は仕事、女は家庭」といったような性別による固定的な役割分担にとらわれず、職場・学校・地域・家庭その他の社会のあらゆる分野で、それぞれの個性と能力を発揮できる社会づくりが必要となっています。

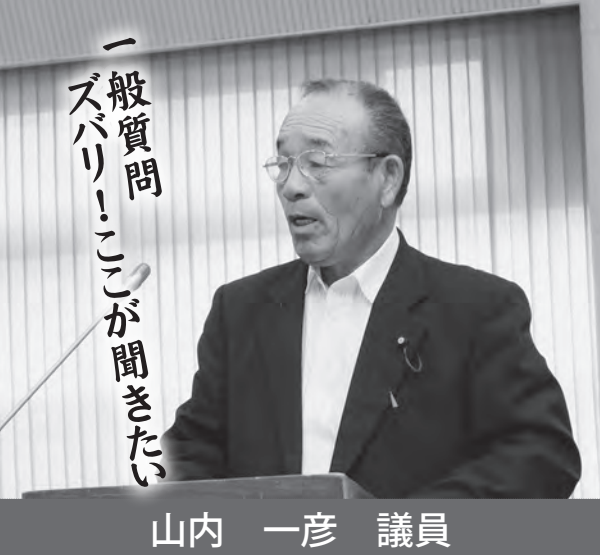
本町におきましては、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」第15条に基づき、2016年4月から「比布町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」を実践し、女性職員の職業生活における活躍を図っているところです。

昨年9月現在、本町の公職者は257人に委嘱しています。男性72%、女性28%の割合となっております。「女性の起用を進めていくことで本町の活気が今まで以上になる可能性もあるのではないか」とありますが、私も共感するところであり、私共も新たに任命させていただく機会には、さらなる女性の参画を検討したいと思えます。

各種調査においては、日本の男性は家事に費やす時間が先進国で一番短いという結果が出ていることから、男性の働き方改革にも取り組む必要があると思っております。



一般質問  
ズバリ！ここが聞きたい



山内 一彦 議員

## 人口減少の要因と対策の 新たな施策の考えは

村中町長 >>>

これまで以上に民間事業者とのパートナー  
関係を築き、まちづくりを進める

□質問・山内議員

人口減少問題は、2016年5月に民間有識者でつくる「日本創成会議」の試算で、2040年までの30年間で、全道179市町村のうち、147市町村が消滅するおそれがあると報道され、それ以来、全道各市町村もいろいろな施策で「人口減少に歯止めを」と頑張っていますが、毎年減少しているのが現状です。

国政調査に基づいて、本町の人口動向を調査すると、1955（昭和30）年の8516人がピークで、それ以降、毎年減少が続き、2014（平成25）年からの4年間で189人が減少しています。

以上が、本町の人口動向ですが、本町の人口減少の大きな要因をどのように捉えているのか、「住の部分」の対策だけでは不十分と認めているが、今後において新しい施策があればお聞かせください。

■答弁・村中町長

人口減少の要因について、第一に全国的に都市への一極集中及び少子化の加速が挙げられると思います。

北海道においても、2015（平成27）年の国勢調査で、道内179地町村の9割超の171市町村の人口が減少し、札幌市が2.1%増の一極集中が一段と進んでいる結果が示されました。

ヒト・モノ・カネのすべてが都市に流出してしまい、北海道の第二の都市、旭川市でさえ人口流出に歯止めがかからない状況です。

特に、地方消滅の基準でうたわれている20歳から39歳までの流出が大きく、将来的な人口減少を加速させる要因だと思います。

さらに、65歳以上の割合が、29%から43%に高まり、人口減少と高齢化が同時に平行して進むことが確実に、行政や企業にとつて個人消費や人材不足などへの対応が急務といわれています。

5期にわたつて3団地の宅地造成や空き地対策、民間集合住宅等の整備への支援などに取り組み、少しずつ成果が表れ、転入人口と転出人口の差が2年連続で転入増となっています。

今後の施策については、現在、全国の自治体が人口争奪戦を行っている状況で、その中で生き残るために新たに住む場所として、本町を選んでもらう必要があります。そのためには、町民・議会・行政が同じ方向に向かうことが重要だと考えます。

具体策として、子育て環境や移動支援の拡充など、町民が安心し、快適に暮らすことができる基盤の整備に取り組んでいくことだと思っています。これまで以上に民間事業者を

まちづくりのパートナーとして積極的に協力関係を築き、生涯活躍できるまちづくりを進めていく必要があると考えます。

□質問・山内議員

この3年間の人口動態をみると、転入と転出による減少が10人程度と、移住定住施策の効果が表れてきていると思います。本町の行政機構の中に「人口減少対策係」を設置する考えはありますか。

■答弁・村中町長

全職員に対して、「自分のやっている仕事は人口減少対策に関わるんだ」という自覚を持つて仕事をしてもらっています。特別な係の設置は、内部でも協議したいと思っています。

□質問・山内議員

人口増を図ることは容易ではないが、社会減少を止める・増やすことは町民の努力によって可能だと考えます。そのためには、交流人口を増やし、比布町の良さをPRすることです。その拠点である「比布事務所」を都市に設置して活動するのがよいと思いますが、町長のお考えは。

■答弁・村中町長

比布町を知ってもらい、大都市とそういった関係をつくることは大切だと考えます。社会増減の増に転じるよう、事務所を設置について内部でも協議したいと思っています。



安藤 裕子 議員

# 保育園の待機児童問題をどのように考えていくのか

村中町長 >>>

来年4月までに保育環境を整備したい

□質問・安藤議員

町長のお考えの中に、「移住を希望される方が『住んでみたい』と思っていただけ町を目指し、人口減少対策を進めていく考えです」とありました。

2016（平成28）年度の新生児は11人、2017（平成29）年度は新生児26人となり、喜ばしい現状ではありますが、共働きやライフスタイルの変化に伴い、2歳児の保育園入所希望が今までになく多くなり、待機児童が4人出ている状況です。

その年により増減はあるものの、このままではこの町で子育てを考えている移住希望者にブレーキがかかるのではないかと心配の声が上がっています。

町長は今後、待機児童対策として、新たに保育園や乳幼児保育所等の新設の考えがあるのか、お聞かせください。

■答弁・村中町長

くるみ保育園における待機児童の今後の対応について、保育園側とも受け入れ体制の拡充について十分協議してまいりましたが、一番には園舎の保育スペースの問題、保育士の配置と入所児童の安全面の問題、さらには、きめ細やかな保育の提供等を考慮すると、入所希望の児童全員を受け入れは難しいという判断に至

りました。

人口が少ない本町においてもこのような問題に直面し、何とかこの状況を打開できるような検討を進めていくところです。

近隣の事例では、転入者の増加等で待機児童の発生や保育ニーズの低年齢化により、いずれも小規模保育園を開設させ、低年齢児の受け入れをしており、本町も十分に参考とさせていたいただきました。

しかしながら、小規模保育園の開設にあたっては、保育園として使用可能な施設の検討や、その立地環境などの課題もあり、公設か私設かの検討、開設までの準備や体制づくりにも十分な期間が必要です。

また、社会全体的に保育士が不足する中、人材の確保も大きな課題といえます。近隣の保育形態を参考にしながら、何らかの対策を講じる必要があると認識しています。

私の執行方針の中でも、人口減少対策の一環である移住定住にも重点を置き、政策を進めるうえでも、保育環境の改善は、最優先課題であると考え、改善に向けて協議と検討を重ねてまいります。

□質問・安藤議員

小規模保育園設置場所の想定案や保育園運営の整備、人材確保など、検討を進めていることがあればお聞

かせください。

■答弁・村中町長

教職員住宅等を改修して行えるかどうか、町営か私立か、まだ検討中ですが、来年4月1日までは、国の補助財源も確保しながら、一番の課題である保育士確保も大学や関係機関とも協議を行ってまいります。

□質問・安藤議員

「開設までに十分な期間が必要」とありましたが、最短でどれくらいの期間が必要とお考えですか。

■答弁・村中町長

町の施設が整っても保育士の確保ができなかった場合、開設はできないですが、可能な限り早く、年度途中でも開設できるように準備を進めたいと思います。施設の改修にも一定程度の時間はかかるため、ご理解をお願いします。







植西 浩一 議員

## ふるさと納税の充実を

村中町長 >>>

本町の魅力を伝え、  
町内の産業活性化につながるよう進めたい

□質問・植西議員

さまざまな施策を実現するには、財政の充実が欠かせません。

財政を充実させる方法として、ふるさと納税があります。この方法はみずからの努力で税収を増やすことができ、なおかつ、自治体をアピールすることや地産品を売り込むきっかけにもなり、税収の少ない地方自治体にとって、まさにメリットしかないと思います。

またそれは、選んでもらうにふさわしい地域のあり方を改めて考えるきっかけへとつながります。

ふるさと納税をどのように活用していくのか、どのように増やしていくのか。また、返礼品をどのように設定していくのか、展望をお聞かせください。

■答弁・村中町長

当該寄付は、貴重な財源となりません。また、返礼品を全国の皆さまに楽しんでいただくことは、地場産業の活性化及び地域のPRにつながることから、過度な返礼品競争は行わないというスタンスは保ちながらも、インターネットサイトでの寄付の受け付けを開始し、返礼品数を増やす取り組みを行ってきました。

毎年、この金額は増えていますがまだまだ寄付額を増やすことができると考えていますので、さらに広く

周知を図っていきます。

使い道については、まちづくりに必要な分野で、補助金等の財源確保が難しいものを中心に有効に活用させていきたいと考えています。

返礼品についての展望ですが、今年度は、「モノ」による返礼だけではなく、まちを体験していただくための、スキー場へのご招待や、友好交流都市である滋賀県湖南市の特産品との連携した商品を返礼品として加える予定です。これら以外にも、町内事業者と協力し、本町の魅力を伝え、町内の産業活性化につながるよう進めてまいります。

□質問・植西議員

農家の生産物などを加工して、しっかりと返礼品を育てていく、もしくは開発していくような考えがあればお聞かせください。

■答弁・村中町長

農産物については、数も一定程度必要なことから、農協を中心として考えていた、できるだけ働かかけているところであり、これから「野菜セツト」の返礼品ができる予定です。

また、商工振興補助により、民間の方々の特産品を開発できるように町として支援とPRをします。

□質問・植西議員

他自治体が設定していないようなもの、また、郷土文化を伝えるよう

なものを返礼品として設定することは考えていますか。

■答弁・村中町長

町が新たに何かを開発して返礼品に加えることは、考えていません。

□質問・植西議員

ふるさと納税という制度自体の制限が厳しくなってきた時に自治体のクラウドファンディングのやり方もっと文化的な目的を推進していかなければならないと思います。

物だけではなく、比布町が実施している高齢者対策や子育て対策などに関連付けさせながら返礼品を設定していくということが必要なのではないかなと思います。

■答弁・村中町長

それらをふるさと納税だけでPRするのは難しいと思います。

本年度から「比布町応援大使」という制度も活用し、さまざまな政策を絡めてPRし、できるだけ多くの人に寄付をいただけるように努めていきたいと考えています。

□質問・植西議員

使い道について広聴される機会は設けていますか。

■答弁・村中町長

使い道を聞くという限られたことではなく、町として何が必要かというところは、町長の手紙などの広聴で行っています。

# 委員会の activities

## 活動

### 総務常任委員会

5月10日開催

#### 《協議事項》

- ▼みどり町団地C棟建築主体工事請負契約の締結について
- ▼比布中学校外構工事請負契約の締結について
- ▼財産の取得について

### 総務常任委員会

6月7日開催

#### 【税務住民課】

#### 《報告事項》

- 平成29年度町税等の調定及び収入状況について
- 平成29年度上川広域滞納整理機構の収納状況について
- 平成29年度住民登録人口等の推移について

#### 《協議事項》

- ▼比布町税条例等の一部改正(案)について
- ▼過疎地域自立促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の制定(案)について

#### 【保健福祉課】

#### 《報告事項》

#### ▽福祉係

- 平成29年度高齢者移動支援(ぴたく)利用状況について
- ・登録者数 133人
- ・利用実数 1659回 (前年117人)
- ・利用状況 (前年1619回)

- ・日常51・42%、通院7・29%、集会19・83%、余暇21・46%
- 平成29年度高齢者等の冬の生活支援事業状況について
- ・対象数 300世帯
- ・助成数 228世帯
- ・助成金額 228万円

- 平成29年度高齢者宅門口除雪サービス利用状況について
- ・利用数 102世帯 (前年103世帯)
- ・出勤回数、郊外地区 37回 (前年26回)
- ・市街地区 29回 (前年20回)

#### 《協議事項》

- ▼第2回定例会提出議案について
- ▼人権擁護委員候補者の推薦(案)について(2件)
- ▼指定管理者の指定(案)について
- ▼一般会計補正予算(案)について

#### ▽保育係

- ▼保育園待機児童の課題と解消に向けた今後の方向性について

#### ▽衛生係

- ▼新火葬場建設予定規模及び構想(案)について



現在の町営火葬場施設

- ▼比布町立診療所指定管理者(候補者)選定仕様書について
- ▽介護保険係
- 地域包括支援センター

- ▼介護予防拠点施設(つどいの三平)の開設とサロンサポーター養成について

#### 【生涯学習課】

#### 《報告事項》

- 平成30年度教育委員会機構図について
- 平成30年度児童生徒数と学級編制数等について
- 中央小学校 全校生徒151人
- 普通教室6学級
- 特別支援学級5学級
- 比布中学校 全校生徒80人
- 普通教室3学級
- 特別支援学級3学級

- 君の夢プロジェクト推進事業について
- 中学校修学旅行支援の部 (4月24日～27日・首都圏)
- ・3年生32人、引率教員7人
- ・事業費 226万2千円
- 部活支援の部
- ・野球部(11人)
- 7月1日、札幌ドームにて野球観戦及び応援大使と野球教室(調整中)
- ・吹奏楽部(16人)
- 10月19日～20日、ドラム・パーカッション奏者、岩瀬立飛氏指導及び共演
- ソフトテニス部・剣道部 未定
- 講演会事業の部
- 6月18日、講演会及びモデルロケット教室
- 講師(株)植松電機



代表取締役 植松 努氏  
演題 「思うは招く」

事業費 75万6千円

■ スクールカウンセラーの配置について

■ スクールソーシャルワーカーの活用について

■ 比布中学校改築に伴う今後の日程等について

■ 多目的室内運動場灯油漏洩回収状況について

《協議事項》

▼ 比布町立学校設置条例の一部改正（案）について

▼ 比布町立学校施設使用条例の一部改正（案）について

▼ 教育費補正予算（案）について

【総務企画課】

《報告事項》

■ 第2回定例会提出議案について

■ 町債について（平成29年度決定・平成30年度申請）

■ 平成29年度比布町各会計決算見込みについて

■ ふるさと納税状況について

■ エネルギード策事業について

■ JR宗谷本線活性化協議会について

■ 友好交流事業について

《協議事項》

▼ 第2回定例会提出議案について

▼ 継続費繰越計算書

▼ 比布町過疎地域自立促進市町村計画について

▼ 比布駅前広場、高齢者・障がい者用駐車場整備（案）について

▼ 会計年度任用職員制度の導入に向けた必要な準備について

総務常任委員会  
6月27日開催

【生涯学習課】

《協議事項》

▼ 教育費補正予算（案）について

【総務企画課】

▼ 財産（中学校施設）の無償貸付について

▼ 一般会計補正予算（案）について

▼ 比布駅前障がい者・高齢者用駐車場整備（案）について

産業建設常任委員会  
5月10日開催

【建設課】

《協議事項》

▼ みどり町団地C棟建築主体工事請負契約の締結について

・ 7社の指名競争入札により、廣野・水野経常建設共同企業体が落札  
・ 契約金額 1億9224万円

【産業振興課】

《協議事項》

▼ 第2回臨時会提出議案について  
・ 財産の取得について  
（びっぶスキー場グレンデ整備車購入）

現在の整備車は27年が経過し、すべてに老朽化が進み、故障が多く、オーバーホールも高額な費用がかかるため、新車を購入予定。スキー場事業費において、予算の補正を行い、観光事業基金からの繰り入れを行います。

・ 補正予算額 3800万円

○ 委員会からの意見  
車両の使用年数、修理費用の増加は、数年前から確認されていたと思われ、平成30年度の当初予算として計上されるものであり、まちづくり計画においても、その他スキー場施設の年度更新の予算化が必要です。

産業建設常任委員会  
6月4日開催

【産業振興課】

▽ 農林部門

《報告事項》

■ 経営所得安定対策について  
今年度は、自主的な減反により、生産調整を行う初年度となったが、100%の減反協力とはならず、来年に向け、引き続き協力を求めています。また、地力増進作物は、ほぼ認められなくなってきた状況にあります。

■ クマの出没について  
今までに出没したことのない地域に姿を現しています。箱わなを設置し、監視カメラ、猟友会の見回り等を行っているが、捕獲には至っていない状況です。

■ 農産物について  
作付状況、町単独補助事業、土地改良事業等についての説明。

▽ 商工・観光部門

《報告事項》

■ 各観光施設の利用状況について  
・ びっぶスキー場リフト使用料

7640万5502円

・ グリーンパークびっぶ使用料

533万4千円

それぞれ売り上げは、前年よりも減少。スキー場のオープンが遅れ、大雪による悪天候などの悪条件であったが、健闘したと思います。従業員確保は、現在も解消

されていない状況です。

グリーンパークは、パークゴルフの競技人口の減少が大きく影響。管理・維持費において、再考を求める意見が出されました。

遊湯びつぷは、利用者数が伸び悩んでいます。町民利用促進事業は、おおむね良好です。レストランの再開を求めるも、調理人の確保が大変難しい状況です。

■各イベント等の実施予定について  
いちご狩り、良佳村フェスティバル、泥んこバレー大会についての説明。いちご狩りは、10農園で開園予定です。

《協議事項》  
▼一般会計補正予算（案）について

・商工業振興事業補助金等の増補正予算額 136万円

【建設課】

《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況、町営住宅の管理状況、上下水道使用料等の収納状況について  
■橋梁維持管理について  
調査方法の変更がなされ、大幅な予算削減になる予定です。

■簡易水道事業について  
水道新設があり建築・土木委託料が270万円の増額になります。

# 議員活動における嚴重注意

議会議員は、常任委員会であっても、本会議同様、秩序と節度ある発言が求められる、自己の発言に責任を持つことが要求されます。また、議会のルールや会議規則を順守しない場合は、本会議において処罰の対象となる場合があります。今回、嚴重注意となった内容は次のとおりです。

【総務常任委員会から

議員全員協議会の開催要請】

6月7日の総務常任委員会において、植西浩一議員は、以前より乱暴な言動について再三の注意を受け、謝罪したにもかかわらず、再び不適切な言動を繰り返し、会議が中断する事態となりました。その問題について協議が必要と判断し、議員全員協議会の開催を議長に要請しました。

【議員全員協議会の開催】

6月14日に開催。総務常任委員

会において、会議の進行を妨げる発言と行為があったこと、また、議員としての守秘義務違反もあり、植西議員を嚴重注意とし、あらためて委員会での節度ある発言と態度、議員としての守秘義務の順守を確認しました。

植西議員から6月14日付け、議会広報特別委員会委員の辞任願が議長に提出され、同日付けで許可しました。

翌15日に、欠員であった議会広報特別委員に中本論議員を選任。6月18日の同委員会において、安藤裕子議員が副委員長に選任されました。

◇議会広報特別委員会の新構成

※太字が新しく就任した委員

- |     |   |    |     |
|-----|---|----|-----|
| 委員  | 長 | 遠藤 | ハル子 |
| 副委員 | 長 | 安藤 | 裕子  |
| 委員  |   | 八巻 | 良博  |
| 委員  |   | 佐藤 | 康則  |
| 委員  |   | 中本 | 論   |



職員室には学校全体の防犯システムと電気・暖房などの機器操作盤を設置



比布中学校校舎・武道場改築工事  
現地調査を実施  
6月8日 全議員による調査



壁の一部に比布産のカラマツ材を使用



## 北海道町村議会議員研修会



平成30年7月3日（火）  
札幌コンベンションセンター

7月3日の議員研修会に参加してきました。

全道144町村、約1500人の議員が参加し、歴史家・作家である加来耕三氏の「明治維新から150年、現在そして未来を考える」と題し、黒船来航の時、日本は何に恐れたのか。歴史学を学び、なぜ、もしも…。立ち止まってものを考えよ。未来は過去と現在の線上にある。地に足を付けた史実を考え、何のために生きるのか？など、時には楽しく、時には辛口の講演に歴史学の奥深さを知ることができました。

議員として、これからの未来を見据えたまちづくりには、過去に起きたことへの、「なぜ」「もしも…」を、しっかり受け止め、現在の姿を、真実を客観的に捉え、50年後、100年後の町の姿を思い描き、活動していきたいものだと、大変勉強になりました。

2人目の講師は、日本大学法学部教授で、政治家の政治資金、国会活動に詳しい政治学者である岩井奉信氏が「現代日本政治と政局のゆくえ」と題し、今の与党、野党の立ち位置、憲法改正、働き方改革、北朝鮮問題、消費税問題について講演がありました。

また、来年の統一地方選挙や参議院議員選挙では、政治家リーダーとして、何をしたいのかを示せるリーダーが求められるであろう。明確なものを示せることが、10年、20年先の経済をけん引するリーダーとなりうること。

国の混乱の被害に遭わないように、地方は地方で、下からものを言い、アイデアを出し率先して数年先への見通しを持ち、選挙への準備をするように、など政局の行方を熱く語られ、地方議員として身の引き締まる講演となりました。

安藤 裕子



歴史家・作家  
加来 耕三 氏



政治学者  
岩井 奉信 氏

# 議会のうごき

## 5月

- |     |                                                   |        |                                          |
|-----|---------------------------------------------------|--------|------------------------------------------|
| 10日 | 総務常任委員会 (役場、委員・議長)                                | 15日    | 老人スポーツ大会 (町体育館、議長)                       |
|     | 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)                              | 17日    | 陸上自衛隊第2師団創立68周年・旭川駐屯地66周年記念行事 (旭川市、議長)   |
|     | 議会運営委員会 (役場、委員・議長)                                | 18日    | 議会広報特別委員会 (役場、委員)                        |
|     | 第3回議会臨時会 (役場、全議員)                                 | 23日    | 東京比布会総会 (東京都、議長)                         |
|     | 議員全員協議会 (役場、全議員)                                  | 25日    | 観光協会通常総会 (商工会館、議長)                       |
| 11日 | 商工会通常総会 (商工会館、議長)                                 | 26~27日 | 上川町村議会議長会役員会 (和寒町、議長)                    |
| 18日 | 上川中央部市・町議会議長会定例会議 (美瑛町、議長)                        | 29日    | 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会要望活動 (札幌市、議長)   |
| 29日 | 高速自動車道旭川名寄間建設促進期成会定期総会及び宗谷本線活性化推進協議会定期総会 (名寄市、議長) | 30日    | 比布商工会長荒尾孝司氏全国商工会連合会副会長就任を祝う会 (改善センター、議長) |

## 6月

- |     |                                                    |
|-----|----------------------------------------------------|
| 4日  | 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)                               |
| 7日  | 総務常任委員会 (役場、委員・議長)<br>上川地方総合開発期成会総会及び専門部会 (旭川市、議長) |
| 8日  | 比布中学校跡利用に関する議会議員説明会 (役場、全議員)                       |
| 11日 | 議会運営委員会 (役場、委員・議長)                                 |
| 12日 | 北海道町村議会議長会定期総会及び研修会 (札幌市、議長)                       |
| 13日 | 大雪消防組合議会臨時会 (美瑛町、組合議員)                             |
| 14日 | 第2回議会定例会 (役場、全議員)<br>議員全員協議会 (役場、全議員)              |

## 7月

- |     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 2日  | 比布消防団夏季演習 (百年記念公園ほか、各議員)        |
| 3日  | 北海道町村議会議員研修会 (札幌市、全議員)          |
| 7日  | 今津寛氏旭日重光章受章祝賀会 (旭川市、議長)         |
| 8日  | 札幌比布会総会 (札幌市、議長・各議員)            |
| 13日 | 議会広報特別委員会 (役場、委員)               |
| 21日 | 自民党北海道第6選挙区支部政経セミナー (旭川市、副議長)   |
| 22日 | 自衛隊旭川地方協力本部創立12周年記念行事 (旭川市、副議長) |
| 24日 | 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)            |

### 議会広報特別委員会



町民の皆さんの心に届く議会だよりを目指します。  
新体制で頑張りますので、よろしくお願ひします。

6月8日、全議員で比布中学校の改築状況を確認してまいりました。  
現地は内装仕上げに着手され、まっさらな建材や最新の設備が、一日も早い開校と中学生の受け入れを待つかのように整備されておりました。  
最上階から望む大雪山は、新校舎で学び成長する若き精鋭達にふさわしい、雄大な風景を四季折々鮮やかに伝えてくれることでしょう。  
『比布町教育の一大拠点』を照準に英断された前町長、これまでご尽力いただきました学校改築検討委員の方々、関係各位、皆さまに改めて敬意を表します。  
竣工後、二学期と生徒を迎えた瞬間より比布町小・中連携教育の新たな歴史が刻まれ、同時に実務の意味での『一大教育拠点づくり』が始まります。  
(佐藤 康則)

\* 編集後記 \*